

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 旭川中央ケアサポート 安心コールセンター
(第12回) 介護・医療連携推進会議議事録

日 時 令和 5 年 4 月 18 日 (火) 13時30分 ~ 14時00分

場 所 旭川中央ケアサポート かりのすまい東光 1階研修室

出席者

事業所	福祉介護事業部長	柏葉 美香
	福祉介護事業次長	深海 力
	看護師	大谷 清加
旭川市福祉保健部長寿社会課包括ケア推進係		藪 聖斗 様
居宅介護支援事業所	介護支援専門員	T・M 様
定期巡回随時対応サービス利用者		M・H 様

議題

事業所より報告

- (1) 定期巡回・随時対応型介護看護について
- (2) 当事業所でのサービス提供の状況、事例報告
- (3) 意見交換
- (4) 次回開催予定

【会議より抜粋】

進行：深海

〈 柏葉部長 〉

定期巡回・随時対応型訪問介護看護についてパンフレットを見てもらいながら説明。

必要に応じて必要なだけサービスが入れる。時間のくくりがないので効率も良い。

定期巡回では計画作成責任者がケアマネージャーに連絡し、必要時に変更できるので、担当者会議も必要なく迅速に対応できるサービスである。

デメリットとしては訪問介護（通院乗降介助は別）、訪問看護など併用出来ないサービスがある。

連携の訪問看護が中々見つからない。単位数が少ないから。

〈 深海 〉

事前に配布している資料を見て頂き、令和5年4月現在の利用者状況の報告を行う。

かりのすまい東光入居者 M・H様を事例として、既往歴、入居経緯、ニーズ、今後についての報告。

生活全般の介助は本人の体調と希望に合わせ今後も対応する。

〈大谷 NS〉

パーキンソン病は日によってや時間によって動きが悪くなったりするので、この定期巡回のサービスは柔軟に対応できるので、Mさんには良いと思う。

今現在、退院時より介助量も増えている。これが一時的なものなのか、パーキンソン病の進行なのか薬が合っていないのか、その辺を様子みながら、必要であれば区分変更も検討していくことになるかもしれない。

〈利用者 M・H様〉

目が見えにくい、少し良くなるかもしれないと思っています。

立ち続けるのが難しい、手の痺れがある。

食事もう食いたくなくなってしまうのが嫌。手がふるえる。

食事は丸のみが始まったので病院と同じようにお粥にしてもらっている。

今はスプーンを使っているがフォークも使ってみようと思う。

今後は手を動かすのにピアノ習いたい、リハビリをもっとしたい。

〈 担当ケアマネージャー 〉

御本人様が言われていたように現在後見人の申請を進めている。

社協の方から司法書士の方が手続きをして下さっており、主治医に診断書を願ひし

年内には手続きが終わる予定。

〈 旭川市福祉保健部 長寿社会課 藪様 より〉

御本人も言われていたように色々とサービスを使って、必要なサービスをお手伝いをして頂けたらと思います。

〈 地域住民代表 民生委員 野村様 〉

御都合つかず本日欠席

報告者 深海

次回開催予定 令和 5 年 8 月頃